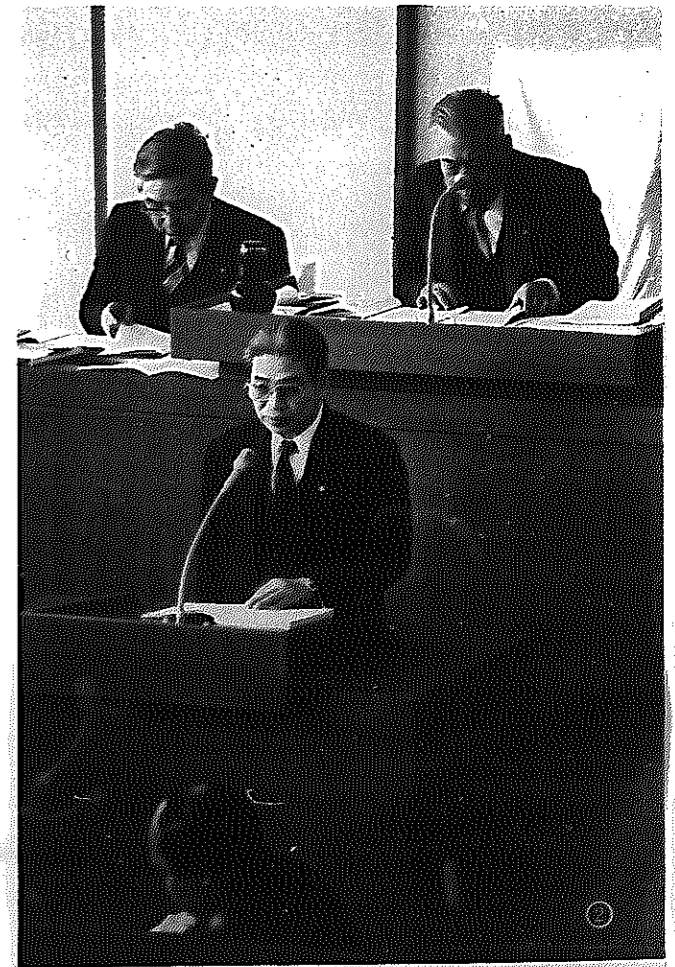
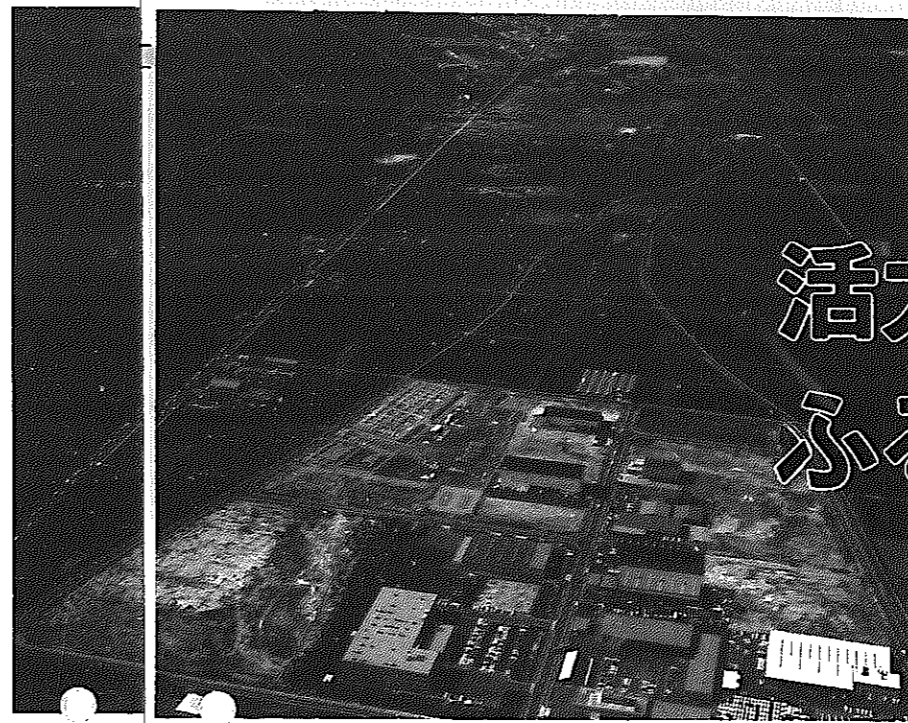


# 活力あふれる ふるさとづくりを

白根北中学校の建設  
市制30周年記念事業の実施  
白根ふるさと館の建設企画  
デイ・サービスセンターの建設



三月八日、平成二年第二回市議会定例会が招集されました。市長は施政方針演説の中で「国、地方を問わず厳しい環境下にあるが、二十一世紀に向けたまちづくりを目指し、市民の幸せと本市の発展のため、精いっぱい努力したい」と決意を述べ、市民の皆さんに理解と協力を求めました。平成二年度一般会計予算は八十八億一千六百万円で、前年度当初予算に比べると、二三・五%増の高い伸び率になっています。予算と主な取り組みを二ページから九ページにわたってお知らせします。



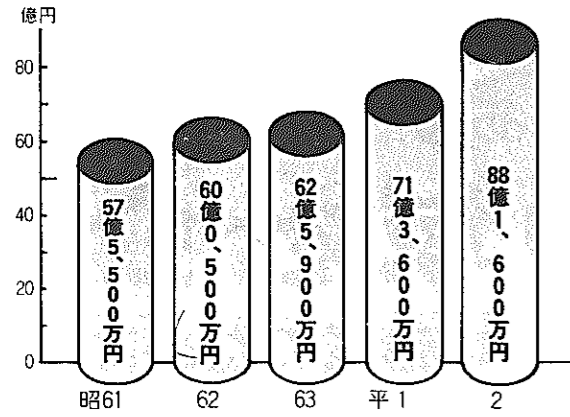
## 一般会計当初予算は88億1,600万円

対前年比

23・5%の増加

平成二年度一般会計当初予算は、八十八億一千六百万円で、前年度当初予算に比べると、十六億八千万円、伸び率にして二三・五%の増となりました。大幅な予算の増加となった主な要因は、次の二つです。

一つは白根北中学校の建設と用地取得のための事業費十億七千万円余りを計上したこと。もう一つは、消防事務組合、衛生センター組合の負担金について予定額全額を当初予算で計上したことです。これまでこれらの負



▲一般会計当初予算の推移

### 法人市民税が 増収

今年度の歳入では、私たち自治体にとって最も重要な財源である市税が、三億五千二百万円余り、一二・三%前年度よりも増加しました。これは法人市民税の増加が大きき要因です。しかしそのことによつて、普通地方交付税の減少が予想されることから、財政調整基金から繰り入れするなど、可能なかぎりの財源を見込みました。

また、地方債の発行が可能な事業について市債を三五・八%増の十一億九千二百六十万円としました。市債は市の借金です。学校などの施設に充てられる市債は長期にわたつて少しずつ返していくことになりませんが、このことは後の世代の人も建設費を負担していくことになるわけです。これは、税負担の公平を

図ることもいえます。一方、借金の返済に当たるのが公債費です。今年度予算の歳出に占める公債費の割合は九五%。前年度予算よりもさらに減少しています。

### 市民の要望に こたえる施策を

本市では、昭和五十九年度から「財政健全化計画」を、昭和六十二年からは「公債費負担適正化計画」を策定し、財政の健全化に向けて努力してきました。その結果、昭和六十二年末には起債制限団体を脱却。着実にその成果が表れてきています。しかし、まだ弾力性のある財政構造とはいえず、今後も引き続き財政の健全化を推進していくかなければなりません。

今年度予算は、市民の皆さんから強い要望のある地域の活性化対策、芸術・文化・スポーツの振興など、また、社会経済情勢に即応した高齢化対策、産業基盤の整備などの施策について財源を重点的、効率的に配分するよう努めました。二十一世紀に向けたまちづくりを目指し、市民の皆さんの幸せと本市の発展のため、市は精いっぱい努力を続けていきます。

## 予算の内訳

